



カケハシ・プロジェクト（米国） 沖縄プログラム派遣の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

沖縄プログラムは日米両国の高校生による相互交流プログラムであり、今回は、沖縄県立那覇国際高等学校の生徒及び引率者 10 名を、日米に対する理解促進を目的として、米国カリフォルニア州へ派遣しました。米国滞在中は、現地総領事館及び市庁舎への訪問や、企業視察、学生との交流やホームステイを通じて、日米関係や両国の経済関係について学び、日米両国の友好・信頼関係を深めました。異なる文化や習慣に触れながら学びや気づきを得るとともに、交流先で出会う人々に向けて、日本そして沖縄の魅力を伝えました。

【参加者】 沖縄県立那覇国際高等学校の生徒 9 名及び引率者 1 名 合計 10 名

【訪問地】 米国 カリフォルニア州ロサンゼルス、トーランス市

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

1 月 29 日（木曜日） 【渡航前オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

■ 派遣プログラム：

2 月 10 日（火曜日） 羽田空港より出国、ロサンゼルス国際空港より米国入国
【視察】 ベニスビーチ
【学校交流】 ロヨラ・メリーマウント大学
【来日時オリエンテーション】

2 月 11 日（水曜日） 【表敬訪問】 トーランス市 チェン・グアンハオ 市長
トーランス市 ジョン・カジ 市議会議員
【表敬訪問】 在ロサンゼルス日本国総領事館 神谷 直子 首席領事
【交流会】 北米沖縄県人会
【視察】 ドジャー・スタジアム
【視察】 リトル・トーキョー

2 月 12 日（木曜日） 【視察】 アメリカン・ホンダ・モーター・カンパニー
【視察】 米国パソナ
【視察】 ターミナル・アイランド
【視察】 ロサンゼルス海洋博物館

2 月 13 日（金曜日） 【学校交流】 West High School

	【ホストファミリー対面式】
2月14日（土曜日）	【ホームステイ】
2月15日（日曜日）	【ホストファミリー歓送会】
	【ワークショップ】 報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
2月16日（月曜日）	ロサンゼルス国際空港より出国
2月17日（火曜日）	羽田空港より入国

2. 記録写真

派遣プログラム

	
2026年2月10日【学校交流】 ロヨラ・メリーマウント大学	2026年2月11日【表敬訪問】 トーランス市 チェン・グアンハオ市長、ジョン・カジ市議会議員
	
2026年2月11日【表敬訪問】 在ロサンゼルス日本国総領事館 神谷 直子 首席領事	2026年2月11日【交流】 北米沖縄県人会との昼食会
	
2026年2月11日【視察】 ドジャー・スタジアム	2026年2月11日【視察】 リトル・トーキョー

	
2026 年 2 月 12 日【視察】アメリカン・ホンダ・モーター・カンパニー	2026 年 2 月 12 日【視察】米国パソナ
	
2026 年 2 月 12 日【視察】ターミナル・アイランド	2026 年 2 月 12 日【視察】ロサンゼルス海洋博物館
	
2026 年 2 月 13 日【学校交流】West High School	2026 年 2 月 13 日【学校交流】West High School
	
2026 年 2 月 14 日【ホームステイ】朝食の様子	2026 年 2 月 15 日【ホストファミリー歓送会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

海外に旅行をしてもその国の観光面しか知ることができませんが、ホームステイを通して実際の米国での生活を体験することで、国民の生活習慣やバックグラウンドを詳しく知ることができました。

◆ 高校生

米国にある日本の企業を訪問して、日本人が活躍している姿を見て、勇気や希望をもらいました。将来の選択肢の視野を広げることができました。

◆ 高校生

企業視察において、海外で事業を展開する日本企業が、海外と日本での製品に対する需要の違いを分析して売り出す工夫や、そこで働く日本人がさまざまな刺激を受けて生きている姿を見ることができ、海外にある日本企業で働くという選択肢が増えました。海外で日本人として仕事に誇りを持って働く現地スタッフの方々に感銘を受けました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

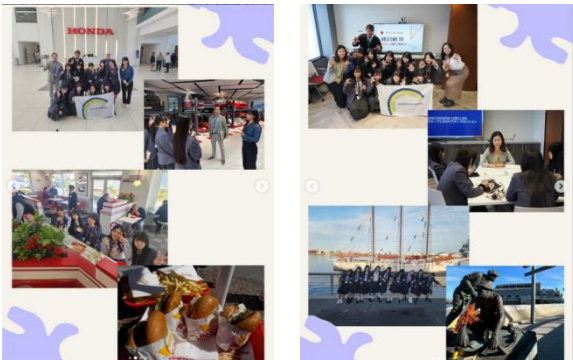
◆ 視察先関係者

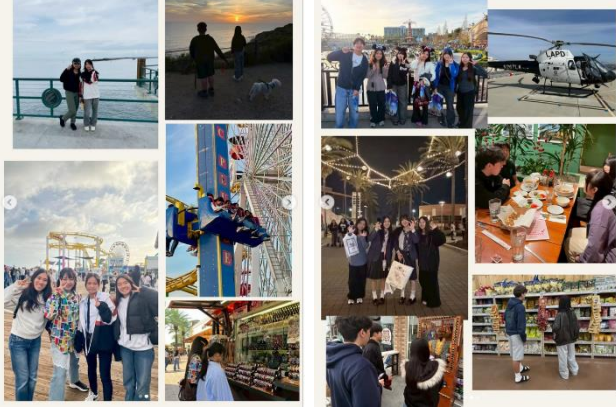
自分の経験を共有することで、学生たちが最初の一步を踏み出す後押しになれたことは、私にとって本当に大きな喜びでした。彼らのエネルギーと積極的な姿勢に、私自身もとても刺激を受けました。

◆ 交流校関係者

日本からの高校生グループを受け入れたのは今回が初めてのことでした。本学の学生たちは、日本を旅行した際の経験や、米国の大学生として自分たちの視点を共有することができました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2026 年 2 月 20 日（Instagram） 2025 度のカケハシ・プロジェクトは那覇国際高校から 1 年生 1 名、2 年生 8 名、引率者の合計 10 名が参加しました！	2026 年 2 月 20 日（Instagram） Day 3 1. 会社訪問：アメリカン・ホンダ・モーター・カンパニー 2. 昼食（In-N-Out Burger） 3. PASONA USA 会社訪問 4. ターミナル・アイランド見学 5. ロサンゼルス海洋博物館 6. 夕食（El Torito Mexican）

	
2026 年 2 月 20 日 (Instagram) West High School にてプレゼンテーションを行いました！	2025 年 2 月 22 日 (Instagram) ホームステイ。それぞれ、ホストファミリーと二泊三日過ごしました。
	
2026 年 2 月 10 日 (協力団体ローランシアン協会の Instagram) 思い出に残るホームステイも終え、1 週間の研修も無事に終わることが出来ました。	2026 年 3 月 11 日 (在ロサンゼルス日本国総領事館の Instagram) 2026 年 2 月 10 日～16 日、沖縄県的那覇国際高校の生徒 9 名が、カケハシ・プロジェクトを通じてロサンゼルスを訪れ、トーランス市にある West 高校との交流を深めました。 また、当館を表敬訪問し、神谷直子首席領事から外務省の仕事内容や、神谷首席のこれまでのキャリアについて、講義を受けました。 その他、トーランス市のジョン・カジ議員への表敬訪問に加え、ロヨラ・メリーマウント大学、アメリカン・ホンダ・モーター・カンパニー、米国パソナ、ターミナル・アイランド、リトル東京の視察、北米沖縄県人会との昼食会など、様々な体験を通して米国の社会や日米関係への理解を深めました。 那覇国際高校と West 高校の皆さん、これからのご活躍も応援しています！

6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表



【成果の発表】

- ・ トーランス市には多様な人種の人々が暮らしており、米国内のみならず多くのアジア諸国との交流を通じて、さまざまな視点を取り入れていることを学びました。
- ・ 特に日系人の人口が多く、日系コミュニティがトーランス市の社会に大きな影響を与えていると感じました。また、市内には日本文化の要素が随所に見られ、親しみを覚えました。
- ・ リトル・トーキョー、ターミナル・アイランド、ロサンゼルス海洋博物館での視察を通して、日本から遠く離れた土地でも、自らの文化を受け継ぎ、独自のコミュニティを築き上げてきた日系人の歴史に触れ、文化を守り続けることの大切さを改めて実感しました。
- ・ 多くの人々が自分の祖父母や祖先の出身地・職業などを詳細に把握しており、自身のルーツを大切にしている姿勢を垣間見ることができました。
- ・ 学校交流では、日本の学校とは異なり、授業が分単位で細かくスケジュールされていることや、授業間の休憩時間の長さが毎回異なることに驚きました。そのおかげで、生徒のタイムマネジメント能力が養われていると感じました。
- ・ ダンス、演劇、映像制作など専門性の高い授業が多く、生徒が自ら授業を選択し、時間割を組む制度でした。そのため、興味のある分野を集中的に学べ、早い段階から将来を考える力や計画性・主体性が身につくと思います。一方で、後に進路を変更したい場合に方向転換が難しい可能性もあると感じました。
- ・ 生徒は、多様な人種的背景やルーツを持ち、それぞれが個性豊かなメイクや髪型を楽しんでおり、多様性が自然に受け入れられていました。また、男女の隔たりをあまり感じず、誰もが仲良く過ごしているのが印象的でした。
- ・ トイレの標識が男女とも青色で統一されており、どちらにも属さない人向けのマークも設置されていたことから、ジェンダーに対する理解が日本より進んでいるようでした。
- ・ 米国料理だけでなく、イタリア、メキシコ、韓国、中国、日本など多様な国のレストランが存在し、食を通して文化の多様性を実感できました。多様な文化が共生する様子が見てとれました。
- ・ 同じキリスト教でも、人種やルーツによって教会が分かれていました。
- ・ 日本のアニメ文化が深く浸透しており、アニメは単なる娯楽を超え、文化的架け橋として人と人をつなぐ力を持っていることを実感しました。

【アクション・プラン】

- ・ Instagram での継続的な交流の様子や学びの発信
- ・ プロジェクトの概要や活動記録をまとめたアルバムの作成（将来参加する自校の生徒向け）
- ・ 学校生徒及び関係者に向けた成果報告会の開催
- ・ 日々の継続的な英語の勉強

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）